

平成18年2月 草津・長浜(滋賀)旅行
～琵琶湖畔の旧跡をめぐる大名旅行

草津から近江八幡、彦根、長浜と琵琶湖の東側を縦断したこの旅行では、各地の歴史資料館、お城などを巡り歩いている。公明党区議団は「福祉事業、文化事業、教育事業の研究のため関係施設を視察した」といっているが、草津宿街道交流館、近江八幡資料館、彦根博物館、北国街道安藤家、長浜城歴史博物館など、訪問先はすべて立派な観光名所である。「区民のための街づくりの一環として、また観光振興に役立てるためこのような施設を幅広く視察する」とも言っているが、もしこれが通るなら政務調査費を使って大手を振って観光旅行が出来るということにならないか。これを納得できる区民がどれだけいるだろうか。おそらく誰もその説明には納得しないだろう。旅行の足取りからは、調査研究の気配すら全く窺えない。ちなみに、各観光スポットでの入場者は3名から7名とバラバラ。とてもまじめな「視察」とは思えない。

この2泊3日の「大名旅行」に費やした税金はなんと50万円以上。何人分かは判然としないが、7名分としても一人当たり7万円以上になる。内訳は、交通費と宿泊費であると推測されるが、現地までの交通費が2万円程度であることを考えると、1人1泊あたり2万円以上もする宿代を払った計算になる。これほどの支出をおこなってまでする視察旅行とはとても思えない。区民としてはやりきれない限りである。

E217	2006/2/15	水	パック	(株)日本旅行JR・宿泊 長浜市・草津市(滋賀県)	滋賀県		¥505,520
E218	2006/2/15	水	観光	草津市立草津宿街道交流館 3人分	滋賀県	かつて草津は東海道と中山道が合流する宿場町として栄えた。その当時の歴史資料を展示し、あわせて駕籠かきの体験コーナーなどを設けた施設がこの「交流館」である。しかし、この施設の「視察」が品川区政と一体どう関係するのだろうか。 この交流館から200メートル先にある「草津宿本陣」と名づけられた大名などの休泊所があるが、一行はこの屋敷も訪問している(この本陣の入場券との共通券を購入)。書院造の建物内にはかつての関札や宿帳などの江戸時代の資料が展示されている。	¥960
E219	2006/2/15	水	乗車券	西日本旅客鉄道(株) 草津駅	滋賀県		¥7,630
E220	2006/2/16	木	タクシー	シガケイハンタクシー	滋賀県		¥840
E221	2006/2/16	木	タクシー	近江タクシー	滋賀県		¥860
E222	2006/2/16	木	観光	近江八幡市立資料館入館料 7人分	滋賀県	近江商人の邸宅跡を利用した資料館。民族や工芸の資料が展示されている。この資料館の並びには、歴史民俗資料館、旧西川家邸宅、旧伴家邸宅が立ち並んでおり、公開されている。区議団の入場料はこれら4施設の共通券である。	¥3,500
E223	2006/2/16	木	タクシー	近江タクシー	滋賀県		¥1,670
E224	2006/2/16	木	タクシー	シガケイハンタクシー	滋賀県		¥1,340
E225	2006/2/16	木	タクシー	シガケイハンタクシー	滋賀県		¥1,640

